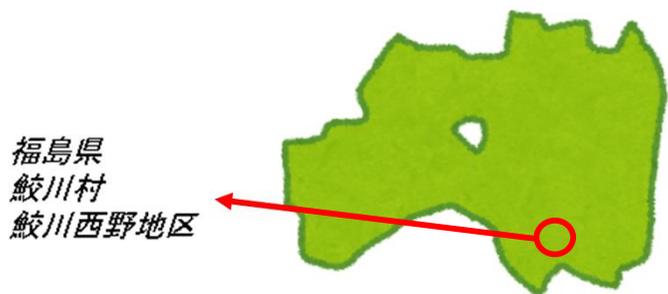


# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28年度:計画作成主体:鮫川村地域農業再生協議会)(福島県)

## 取組の概要

- 対象品目 : 水稻(産地面積25ha(中山間))  
 主な取組主体 : 有限会社鮫川アグリサービス  
 成果目標 : 水稻の生産コスト10%以上の削減  
 基準(H28年度) 121,100円/10a  
 目標(H31年度) 106,600円/10a  
 導入施設等 : 生産支援事業(機械リース)  
 (コンバイン 1台)



## ポイント

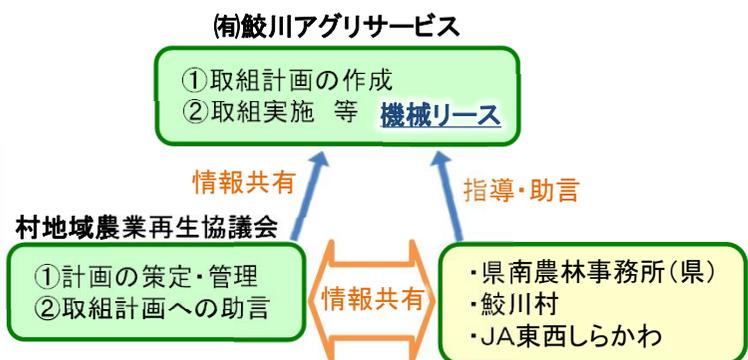
### 【取組の主題(テーマ)または課題】

当該地域は中山間地であり、ほ場面積が小さいため作業効率が悪く、生産者の高齢化により耕作放棄地が増加している。そこで、水稻生産の省力・低コスト化を図るため地域内の担い手へ稲作作業を集約し作業効率を高めることで、地域的水稻作付を維持し耕作放棄地増加の抑制を目指す。

### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①担い手への収穫作業の集約のために必要な高性能コンバインの導入リース支援
- ②担い手への収穫作業の集約及び高性能コンバインの効率的利用の推進による産地的水稻生産の省力・低コスト化

## 産地体制



## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- ・人・農地プラン(現在9地区)を作成し、農地の集約化や担い手への作業委託を推進している。また、位置づけされた担い手には、作業機械等の補助事業の積極的活用を促している。

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

- ①リース支援による初期投資の節減効果
- ②収穫作業の集約及び高性能コンバインの効率的利用によるコスト節減効果

### 【事業実施による間接効果】

- ①基幹作業委託による水稻生産の省力・低コスト化により水稻作付を維持
- ②収穫作業委託者の保有機械処分による機械費用の削減



**生産コストを  
18%削減  
(達成率148%)**

